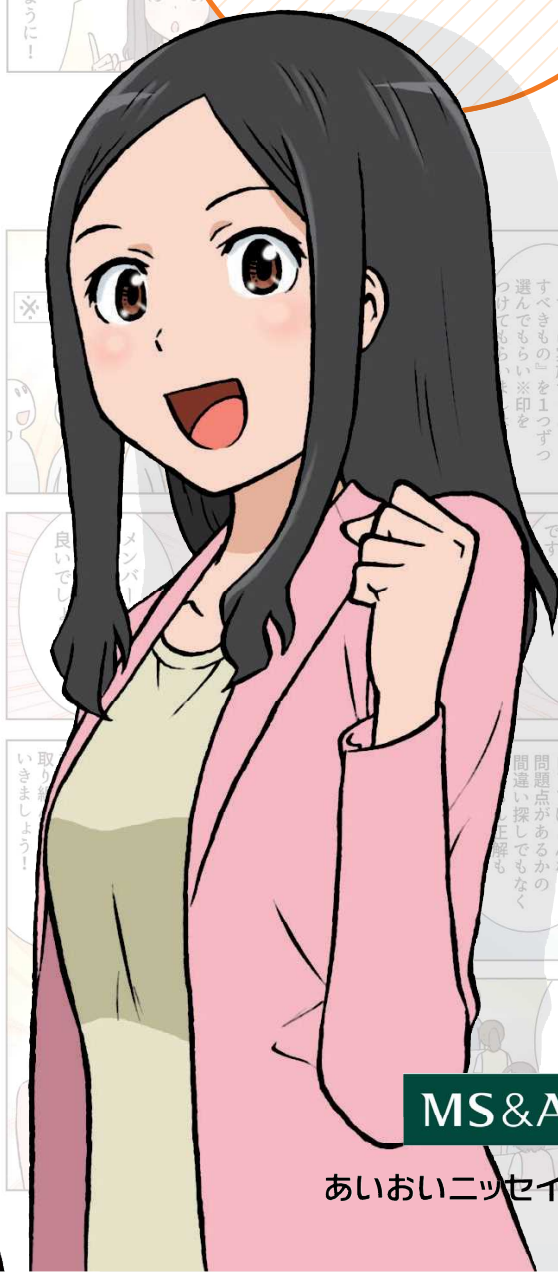
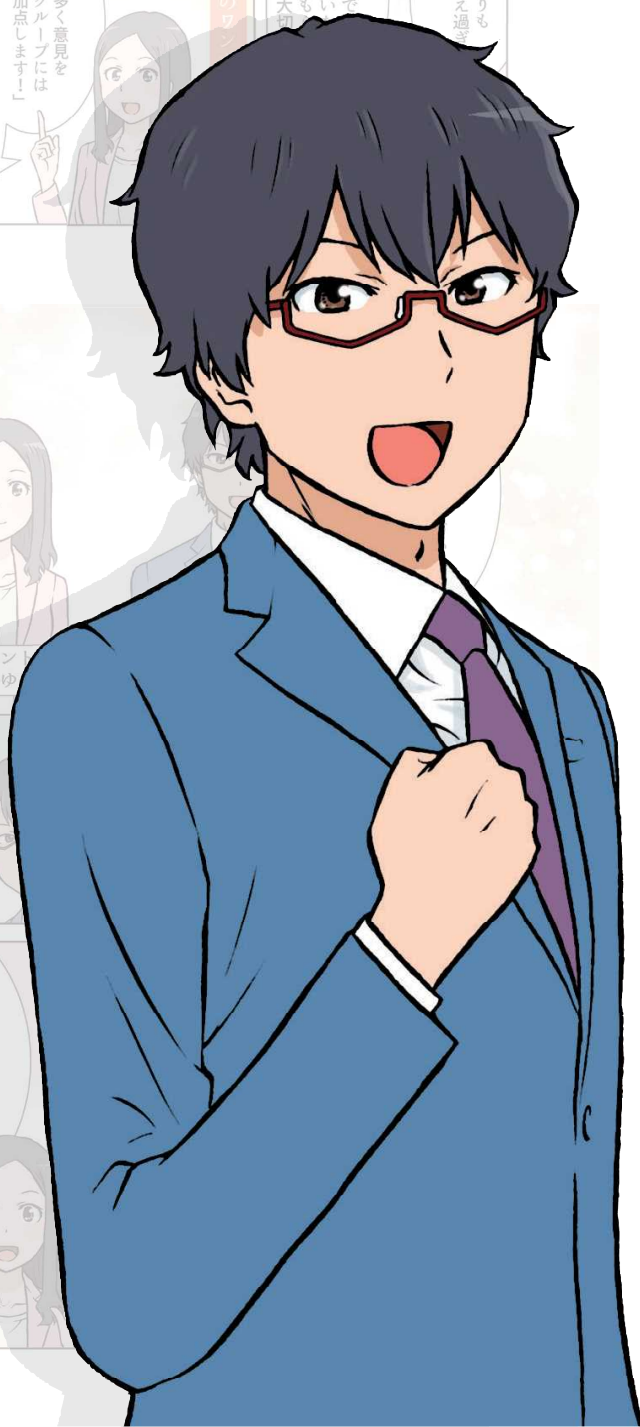


就学前施設 危険予知訓練

— 保育所・幼稚園・認定こども園版KYT —

ガイダンス編



MS&AD

あいおいニッセイ同和損保

はじめに

就学前施設を取り巻く運営環境は刻々と変化しており、そうした変化に加え、私たちの生活環境も大きく変化が生じています。更には、社会情勢を反映した事故等の発生も増加しており、就学前施設に関わる各種機関からも事故の防止についての取り組みが求められています。

今まさに、就学前施設の内外における事故を未然に防ぐ取り組みである「事故防止活動」の重要性が高まっています。

事故防止活動の取り組みは、いくつもの段階に分かれていますが、初期の段階では「危険の気づき」が極めて重要な要素です。

危険に気づくことにより、その後の取り組みがより効果的なものとなりますが、反対に、気づかない・気づきが遅い場合には、取り組みに影響が及ぶケースもあるかもしれません。

本ツールは、事故防止の取り組みを有意義なものとするため、危険に対する「気づきの感性」を高める「危険予知訓練(KYT)」の考え方や進め方をわかりやすく解説しています。

作成に当たっては、約200施設の現場で起きたヒヤリハットを収録し本資料に収めました。

就学前施設で働く皆さまの「危険に対する気づきの感性」が高まり、現場における事故防止の取り組みに少しでもお役立ていただければ幸いです。

2019年6月

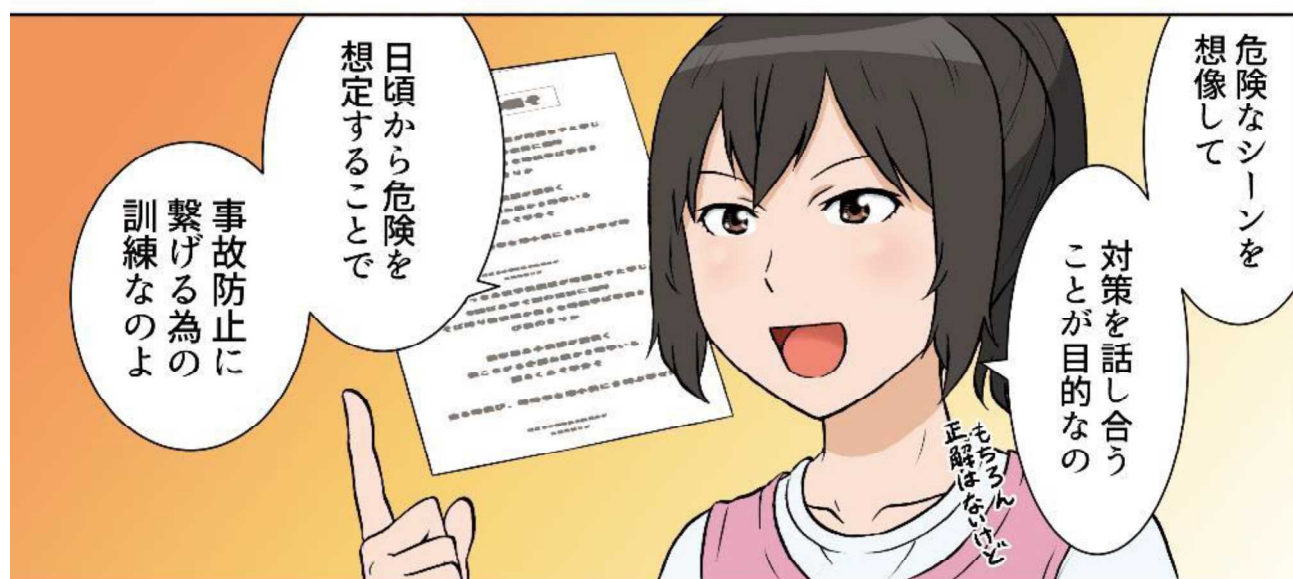
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
マーケット開発部 市場開発室

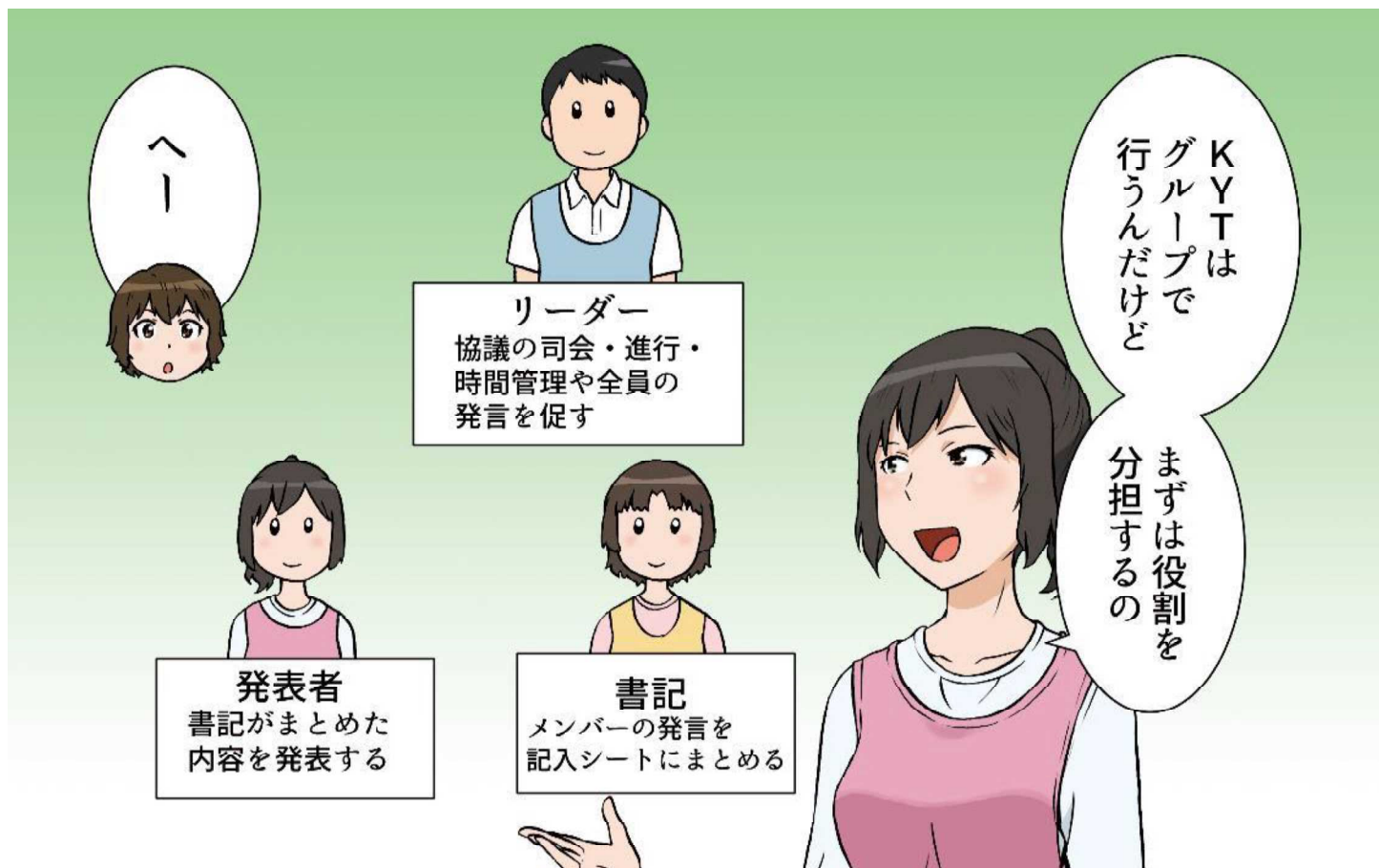
目次

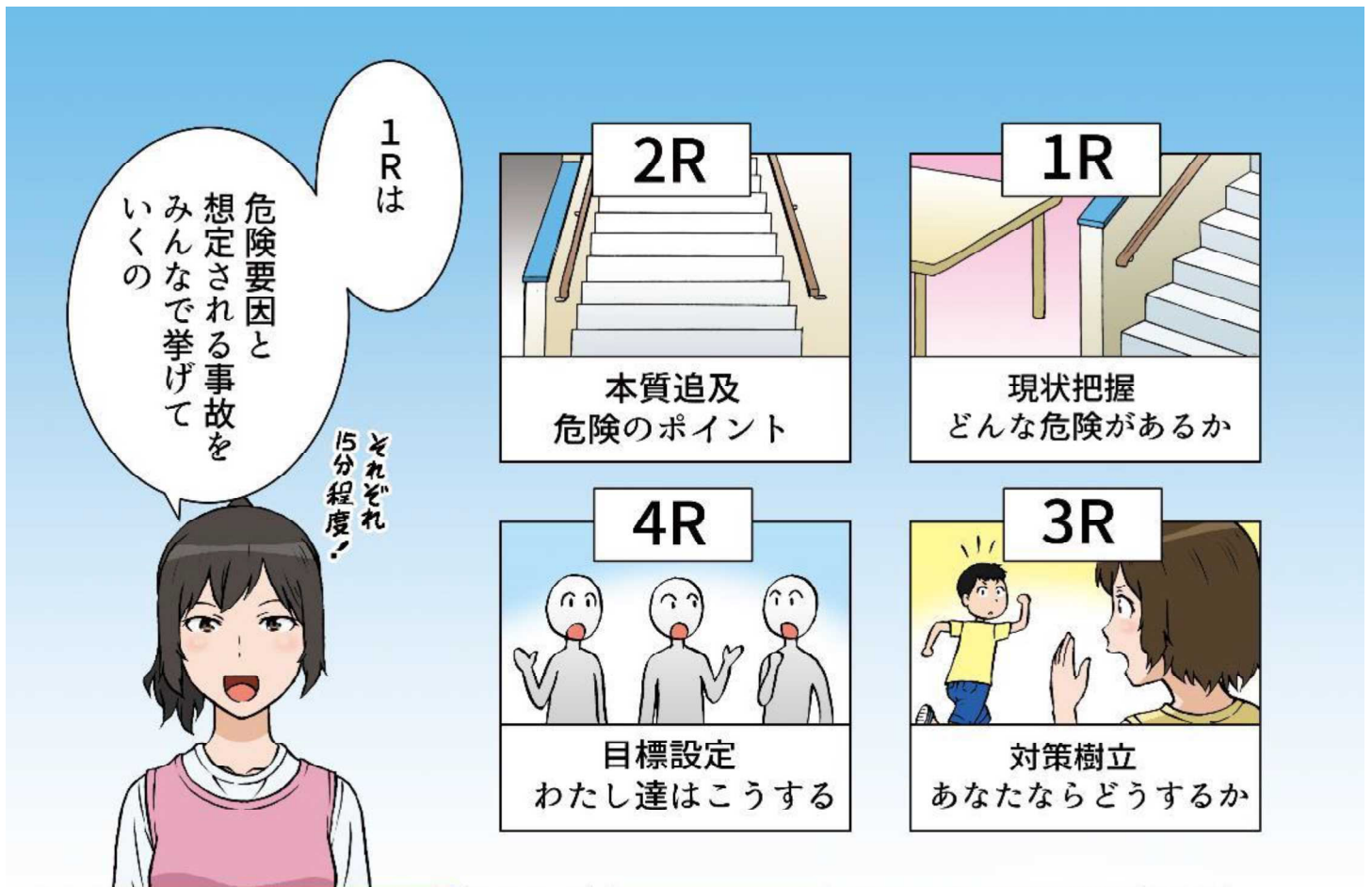
はじめに	1
I. 本ツールの目的	13
II. 本ツールの構成	14
III. KYTについて	15
IV. KYT(4ラウンド法)の進め方とポイント	17
V. 危険予知訓練のモデル.....	20
危険予知訓練記入シート	26

ガイドンス編





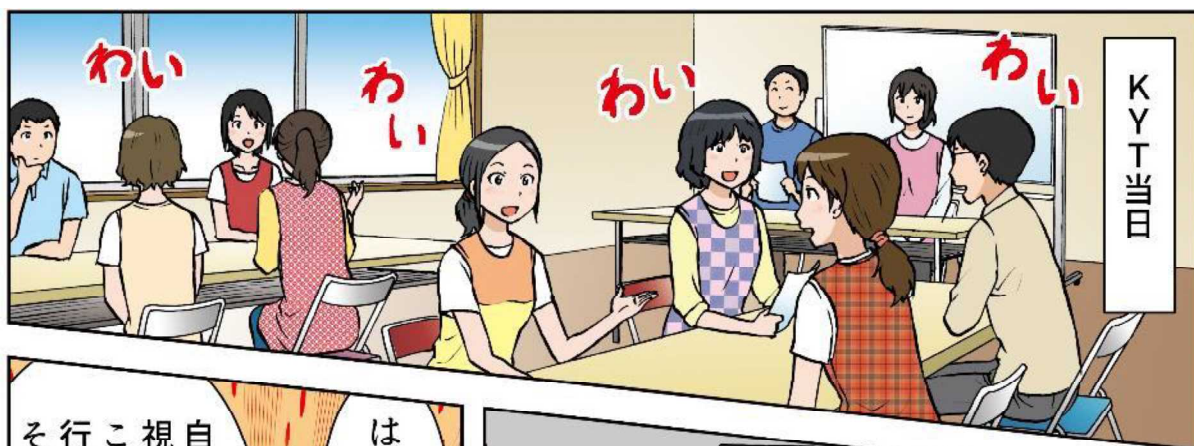








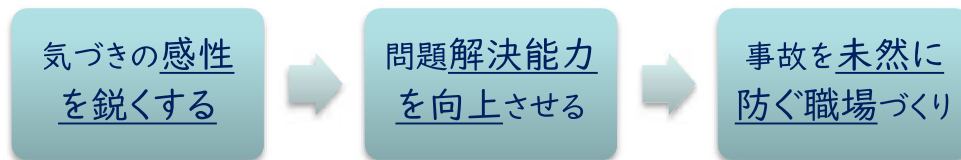




I. 本ツールの目的

■ 考え方: “気づきの感性”を養成

気づきの“感性を磨く”ことから事故を未然に防ぐ職場づくりを目指します。



■ 意欲: “受動的研修”から“能動的研修”

意見を出し合い、考え合う、参加型研修で実効性を高めます。



■ 運営: “全職員・長時間”から“少人数・短時間”

少人数・短時間でも開催可能で、効率的に訓練を実施できます。



危険予知訓練（KYT）は、とかく暗い話題になりがちな事故について、明るく前向きにホンネの話し合いができるようにしたものです。

Ⅱ. 本ツールの構成

本ツールは下表記載の3分冊から構成されます

NO	名称	内容	配布先	使い方
1	ガイダンス編	・本ツールの目的 ・本ツールの構成 ・KYTについて ・KYT(4ラウンド法)の進め方とポイント ・KYTのモデルと記入例 ・記入シート	全職員	KYTの目的や進め方などを中心に記載しています。参加者に事前配布し、進め方などを理解いただいた上でKYTを実施すると効果的です。講師説明用の資料としても活用できます。
2	イラスト編	イラスト(20枚)	全職員	検討テーマのイラストを1、2枚選定し、必要部数をコピーして参加者に配布します。
3	ポイント例編	・職場でのKYT実践のポイント ・講師用トークスクリプトと進め方の留意点 ・ポイント例(20枚)	講師	検討テーマの記入例は必要部数印刷して、KYT実施後に参加者に配布します(事前に配布しないように注意!)。一連の流れを記載した「トークスクリプト」は講師の手持ち資料として活用ください。効果的に協議を進めるためには「進め方の留意点」を参照ください。